

第105回経営協議会議事要録

日時 令和3年5月21日（金）13時30分～14時35分

会場 大学本部棟5階 第1会議室

出席者（委員）

丸茂、赤澤、奥村、北島、中村、飯野の各委員
島田学長、清水理事、中村理事、松川理事、熊田理事、榎本理事、風間理事

（列席者）

市川理事、齋藤監事、八巻監事、黒澤副学長、茅副学長、白沢相談役、志村特命部長、
石原総務部長、松元財務管理部長、窪田教学支援部長、渡邊研究推進部長、野中医学域事務部長、
中村監査課長、石井総務課長、仲野財務管理課長
海老名総務課課長補佐

会議に先立ち、新任の本会委員（渡辺学外委員、飯野学外委員、清水理事、中村理事、松川理事、熊田理事、榎本理事及び風間理事）について紹介があり、出席委員からそれぞれ挨拶があった。

また、議長の職務代行を清水理事とすることについて、参考資料により報告があった。

議事要録確認

第104回（3.3.19開催）の経営協議会議事要録を確認した。

審議事項

1 学長選考会議学外委員の選考（案）について

松川理事から、資料1により、国立大学法人山梨大学学長選考会議規程第2条第1項第1号の規定に基づく学長選考会議学外委員の選出について説明があり、審議の結果、次の6名を学外委員として選出した。

- ・丸茂紀彦
- ・奥村康
- ・北島康雄
- ・佐山展生
- ・進藤中
- ・中村和男

報告事項

1 （一社）大学アライアンスやまなしにおける大学等連携推進法人の認定申請結果について

風間理事から、資料2により、（一社）大学アライアンスやまなしが、令和3年3月29日付けで文部科学大臣から、全国初となる大学等連携推進法人に係る認定を受けたこと及び今回の認定により「連携開設科目」が実施可能となったこと等について、報告があった。

2 令和2年度「国立大学法人ガバナンス・コード」への適合状況等の報告の確認について

松川理事から、資料3により、令和3年2月末までに各国立大学法人が公表した「国立大学法人ガバナンス・コード」への適合状況等に係る文部科学省の確認結果について報告があった。

3 令和3年度施設環境整備費等執行計画について

熊田理事から、資料4により、施設環境整備費（計画執行）、施設環境整備費（樹木一元管理）、小規模修繕費及び宿舍維持管理経費の執行計画について報告があった。

報告事項4～8（資料5～9）については、新型コロナウイルス感染症防止の観点（会議時間短縮）から、説明を省略して各自確認することとし、意見等がある場合は、担当理事等に連絡願うこととした。

4 教育研究評議会の開催状況について（資料5）

5 役員会の開催状況について（資料6）

6 令和2年度資金運用実績について（資料7）

- 7 令和3年度〈当初予算〉 国立大学法人等施設整備実施予定事業について（資料8）
- 8 令和3年度役員・役職者について（資料9）

懇談事項

- 1 外部有識者との意見交換実施状況について
島田学長から、机上配付資料1により、外部有識者との意見交換に係る内容要旨について、報告があった。
- 2 新型コロナウイルス感染症への対応について
島田学長から、机上配付資料2により、本学における令和3年3月以降の対応状況等について、報告があり、榎本理事から、山梨県内の状況及び附属病院の対応状況等について、報告があった。

次回会議 令和3年6月25日（金）13時30分から開催することを確認した。

学外委員からの意見等

SDGsの取り組みについて

(丸茂委員)

山梨県の長崎知事は「山梨総合計画」に5つの基本戦略と17の政策を定め、各政策に関連するSDGsのゴールを振り分けている。

ウィズコロナ、ポストコロナの時代において、SDGsの定着を図るため、山梨大学は知の拠点として行政や経済界とともに、中心となって取り組んでもらいたい。

(清水理事)

SDGsに係る産学官連携については、熊田理事を中心に検討を進めている。また、(一社)大学アライアンスやまなしにおいて、山梨県立大学との連携開設科目を含めた全学共通教育科目におけるSDGsが扱われている科目の調査を進めている。

(熊田理事)

研究の分野においても山梨県との連携を進め、積極的に啓発活動を行っていきたい。